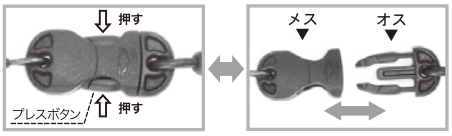
5 使用方法

5-1 ワンタッチリリースについて

○ ヒットエアーには、乗馬、下馬時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが必要となります。ワンタッチリリースとは、鞍の所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーとヒットエアー付ジャケットのキーボックスから出ているキーボールとをつなぐパーツです。

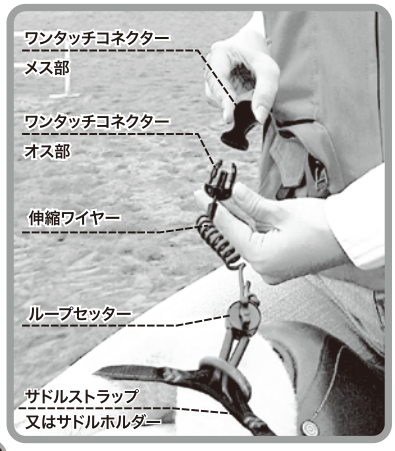
○ 乗馬の際に鞍に取付けた伸縮ワイヤーのオス部とウェア側のキーボックスのメス部を接合します。



注意 ⚠ 1. 接合音「かちっ!」 **接合する際は、メス部を持ちながらオス部を挿入して下さい。その際に「カチッ」と 挿入音が出るのを確認して下さい。挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。**

注意 ⚠ **2. ワンタッチリリース(コネクター)の内側に、砂やゴミ等が入り込み、挿入時に違和感がある時は、オス部とメス部のゴミ等をよく取除いて下さい。**

注意 ⚠ **3. オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合は、新しいものとお取り替え下さい。無理に行うと、外せなくなる事や、自然に外れる恐れがあります。**



伸縮ワイヤー

伸縮ワイヤー2

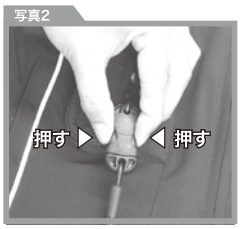
ベルトタイプの伸縮ワイヤー、長さ調節はベルトで簡単調節、取付けも簡単！

複数の鞍をお持ちの方は追加用伸縮ワイヤー(別売)をご利用ください。

5-2 ヒットエアー付ジャケットと伸縮ワイヤーの接続

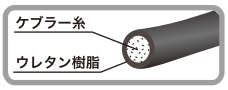
○馬に股がってから、ワンタッチリリース(コネクター)のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させて下さい。(写真1)

○馬から降りる際には、ワンタッチリリース(コネクター)のプレスボタン(両側)を押して、外してから馬をお降り下さい。(写真2)



伸縮ワイヤー

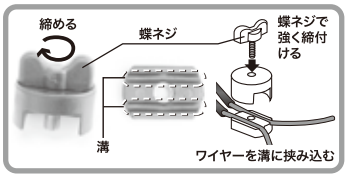
強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。



注意 ⚠ **外装にこすれ傷、めくれ、ヒビ等を発見した場合やケブラー糸が見えた場合は新しいものにお取り替え下さい。**そのまま使用すると、伸縮ワイヤーの切断やループセッターから抜け外れの原因となります。
伸縮ワイヤーのお取り替えは、各自の責任において適切に行って下さい。また、事故の原因となりますので当社指定の伸縮ワイヤーを必ずご使用下さい。

ループセッター

伸縮ワイヤーの長さを調節し固定する為に使用します

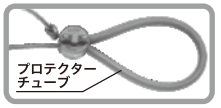


注意 ⚠ 乗馬の際に、蝶ネジが強く締まっている事を確認して下さい。

注意 ⚠ **長さ調節する場合は必ずワイヤーを硬く結び、結び目を作りワイヤー先端部を2cm以上残して下さい。結び目が無いとワイヤーが抜けてエアーバッグが膨らまない事があります**

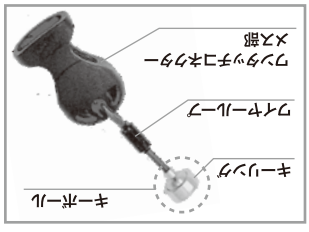
プロテクターチューブ

鞍へ取付けた際、滑りにくいラバー(又はシリコン)素材を使用しています。
伸縮ワイヤーの巻き付け箇所の保護(摩耗、傷)を目的としています。



4-4 キーボール《V型》

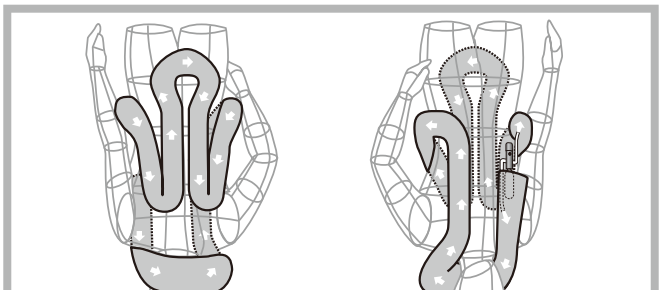
キーボールは、キーボックス内の圧縮バネと針を固定する役割をし、キーボールが抜けると圧縮バネと針が、連動してカートリッジバルブへの封板に穴をあけ、エアバッグ(気室)が膨らみます。
キーボールとキーリングは、一体型のパーツです。



キーボールセット V型

4-5 ヒットエアー構造

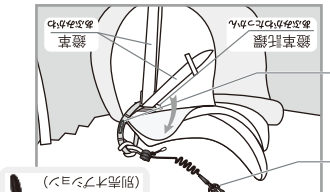
ヒットエアー・一体型は、表面の生地(カバー)の中に直接エアバッグのウレタンフォームが内蔵されています。内蔵されたウレタンフォームが衝撃を緩和します。

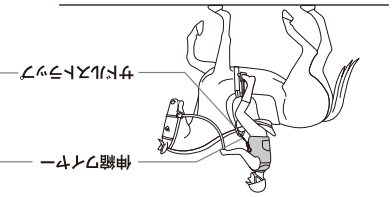


※モデルによって気室の形状等が異なる場合があります

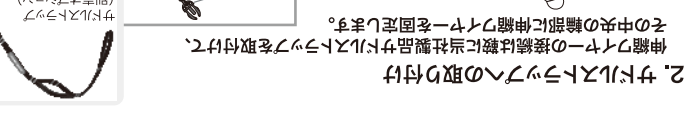
2. サドルストッパーの取り付け

伸縮ワイヤーの接続は鞍に当社製品サドルストッパーを取付けて、その中央の輪部に伸縮ワイヤーを固定します。

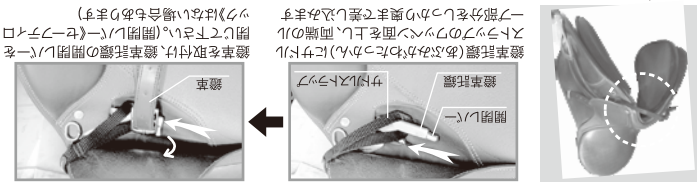




サドルストッパーへの伸縮ワイヤー装着方法(注意3参照)



サドルストッパー取付け方法



鐙革を取付け、鐙革託鐙の開閉レバーを閉じて下さい。(開閉レバーをテーブロッパは無い場合もあります)

鐙革託鐙(あぶみかけたっかん)にサドルストッパーの穴面を上し、両端のレバー部分をしっかり奥まで差し込みます

注意 ⚠ 1. 伸縮ワイヤーの接続が不完全の場合、伸縮ワイヤーが伸びきった状態で、その接続が外れてしまい作動しない恐れがあります。

注意 ⚠ 2. 伸縮ワイヤーに異常(傷、ひび割れ等)が発見された場合はすぐに新しいものにお取り替えて下さい。(※当社指定以外の伸縮ワイヤーは使用しないでください)

注意 ⚠ 3. サドルストッパーが、劣化して縫い糸がほつれたり切れたりしたものは使用しないでください。その場合すぐに新しいものにお取り替えて下さい。劣化したサドルストッパーを使用すると切れてエアバッグが作動しない恐れがあります。

注意 ⚠ 4. 鐙革託鐙(あぶみかけたっかん)に装着したサドルストッパーは、状況によっては、作動の際に抜けてしまいエアバッグが膨らまない場合があります。